



Press Information

VPR04-045

2004年10月18日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

上海での国際省エネコンペ「チャレンジ ビバナム」に参加 駆動システムの経済性を競う国際コンペ、中国で開催 未来のテクノロジーが一同に介し、日常適合性のデモンストレーションを実施

ウォルフスブルグ／上海、2004年10月

フォルクスワーゲンは、上海で開催された2004年「チャレンジ ビバナム (Challenge Bibendum)」に4台の車両を出場させました。うち2台の量産モデルは、中国で現地生産されるポラ TDI とすでに卓越した経済性が証明されているルポ 3L TDI。さらに、ゴルフ ECO.Power とトゥーラン HyMotion の2台のコンセプトカーが参戦しました。ゴルフ ECO.Power は、ディーゼル エンジンと電気モーターを組み合わせたハイブリッドドライブを搭載、トゥーラン HyMotion は燃料電池ドライブ システムを採用し、ともにフォルクスワーゲンの最先端テクノロジーを象徴しています。

「チャレンジ ビバナム」は、1998年にフランスのタイヤメーカー、ミシュランによって設立されたものです。この世界最大の規模を誇る自動車の環境適合性を競う競技は、今年10月12日～14日に中国最大の商業都市、上海で開催されました。エントリーした112台駆動方式に基づく9つのカテゴリで、環境適合性や低燃費性はもちろんのこと、性能や快適性、安全性、騒音特性を競い合いました。

フォルクスワーゲンの量産ラインアップからは、優れた経済性、環境適合性、さらには実用性や快適性を持ち合わせるルポ 3L TDI とポラ TDI が出場。なお、「チャレンジ ビバナム」では、バイオマスから精製された合成燃料のサン・ディーゼル (SunDiesel) が使われました。

フォルクスワーゲンはこの2台に加えて、ゴルフ ECO.Power とトゥーラン HyMotion の2台のコンセプトカーを投入し、フォルクスワーゲン エンジニアが開発した環境保護と未来のモビリティを担うテクノロジーを紹介します。ゴルフ ECO.Power は、76kW の1.4リッター 3気筒 TDI エンジンと、最大定格出力15kW の電気モーターを組み合わせるハイブリッド モデルで、これにより、卓越した省燃費が実現されています。

さらにスタート・ストップ機能も採用され、コンパクトクラスでもセンセーショナルな1リットル/26.3km という低燃費を達成しました。

トゥーラン HyMotion は、いわゆるゼロ・エミッション ビークルの到来が近づいていることを示唆するモデルです。燃料電池ドライブ システムが搭載され、水素と酸素の化学反応を利用して推進エネルギーを獲得しますが、反応の結果として排出されるのは純粋な水だけです。

フォルクスワーゲンは、未来のモビリティを見据えて、環境に優しいテクノロジーの研究開発と日夜取り組んでいます。最近では、上海の同済大学と共同研究プロジェクトの契約にも合意し、2004年11月から本格的な研究を推進する予定です。VW および同済大学は、燃料電池、電気モーター、パワフルなバッテリーによる環境に優しい駆動システムの開発を推進、持続させ、長期的視野に立ちながら、これらのテクノロジーの量産化を図ることになります。

- フォルクスワーゲン グループ ジャパン 広報部
ガストナー tel. 03-5575-7364、池畑 tel. 03-5575-7347、中島 tel. 03-5575-7360 vw-pr@vgj.co.jp
<http://www.volkswagen-press.jp> (プレス専用サイト:未登録の方は下記新規登録用 URL から登録してください。)
http://www.volkswagen-press.jp/run/press/registration/pr_new.jsp (登録 URL)
- お客様お問い合わせ先
フォルクスワーゲン カスタマー センター tel. 0070-800-551133